



目次	
大学変革の流れと大学図書館としての役割 1	学術情報リテラシーシリーズ(第4回) 雑誌論文(学術論文)を探すには . . . 11
図書館利用のすすめ 3	図書館からのお知らせ 13
図書館サポーターのすすめ本 5	附属図書館委員会 14
図書館利用サービスのお知らせ 6	図書館日誌 14
蔵書検索(OPAC)の使い方 7	

<http://www.lib.ehime-u.ac.jp/>

大学変革の流れと大学図書館としての役割

伊藤昌春

大学憲章において“愛媛大学は自ら学び、考え、実践する能力と次代を担う誇りを持つ人間性豊かな人材を社会に輩出すること”を使命とし、“知の創造”と“知の継承”を担う学術拠点になることを唱っています。学術・研究活動によって得られた学術情報の多くは書物に記録・蓄積されて、次代を担う学生と教員へ継承されるため、これらの書物を集中管理（整理・保存・利用）し、求めに応じて適時、学術情報を提供する図書館は“大学の象徴”であり“大学の顔”とも称されます。本図書館は、昭和24年8月、新制国立大学として開校された愛媛大学に附属して開設され、初代:大植登志夫館長より第19代:讃岐幸治館長に至るまで、57年の永きに亘って、高等教育の実践と学術研究の発展に多大な貢献を果たして来ました。

明治以来の教育機構の大変革と評される“国立大学から国立大学法人への移行”によって、平成16年4月に愛媛大学は法人

格を有する独立した高等教育機関へ様変わりを致しました。少産少子による就学人員の減少・学問の学際化と国際化・財政緊縮と link する運営費交付金の実質的な逓減・競争的な外部資金の導入等の厳しい環境下で、愛媛大学は自ら定めた中期目標と中期計画に沿って、教育・研究の領域を中心に社会的貢献や管理・運営の分野においても着実な成果を上げています。加えて、活動内容を開示すると共に認証評価や教員自己評価を受審・実施することによって、社会に対する説明責任も果たしています。このような状況の中に在って、情報戦略の中心的役割を担う図書館は“大学の顔”故に、大学変革の奔流を避けて進むべき目標と採るべき具体策を設定することは出来ません。国立大学図書館協会によるアンケート調査結果で大学図書館に求められる主な機能として、教育・研究の支援、学習環境の提供と整備、情報の収集と発信機能、地域および社会への貢献が挙げられています。

大学図書館に対して“学生の自主学習と教養を涵養するための施設ではあり得たが、研究活動に貢献し得る施設としてはあまり期待されていない”との声や、“研究用図書も多くは、その発注・配置・利用については研究者個人の意志に委ねられ、大学図書館は図書資料の支払い手続きと目録を取るという作業にのみ関わってきた”との声も聞かれます。文系学科と理系学科との間に、教育・研究用資料としての書籍や雑誌の位置付けに幾分の差違はありますが、総じて、大学図書館は先駆的な研究を全面的に支えてきたとは言い難い面も有ります。このような状況を解決するため、電子ジャーナルの導入・拡充と文献検索システムの整備が行われ、現在では、学生のみならず教員や社会人によって利活用されています。只、電子ジャーナルの価格調査に関する蔵野報告によると、冊子体と電子版との価格を設定している出版者は82%であり、電子版単独の価格を設定している出版者は58%です。電子版の価格は冊子体価格の80～100%と設定され、冊子体の追加料金として電子版の価格を設定している出版者は27%で、追加の率は3～35%です。電子ジャーナルに関して、何時まで逼迫した財政の中で引き続き値上げに耐え得るのか、購入費用を確保するために共通経費を増額できるのか、経費削減のために冊子体での購入を中止するか否か等、早急に検討すべき懸案が山積しています。一方、図書館サービスの中核に位置付けられる情報検索に関する機能等を拡大するには、各図書館間において教育・研究等の共通基盤確保に関する連携を強め、横断的かつ包括的な情報へのアクセスを保証するための協力を促進すると共に、分野別の情報収集によって情報資産を充実させ、電子空間内での統合を視野に入れた検討が必要でしょう。

大学の理念において“愛媛大学は入学から卒業・修了までの過程で学生が広い視野を身につけ、自ら学び、考え、実践する能力を習得できる教育体制と環境を整備する”と表して大学院教育を含め、学生教育を本学の目標の冒頭に掲げています。図書館統計によると、図書の年間貸出人の9割超は学生であり、大学の図書館は学生のための施設と謂えます。学生教育は教室における講義と学生自身が行う自主的学習によって構成され、後者にとっ

て大学図書館の役割は極めて重要です。学習のために必要な参考書や文献の検索を行うことによって学生は勉学の目的を認識し、目標を定めた自主的学習が如何に大切かを体験します。従って、図書館は学生に対して最新の検索システムを提供し、勉学に相応しい環境を整備し、アカデミックな雰囲気溢れる空間を提供することが肝要です。授業の合間や放課後等に、1人でも多くの学生が自主的学習の場として図書館を利用して頂ければ、大学にとって最大かつ当初の目標は達成されたと謂えます。

知的活動によって生み出される学術研究成果の収集・蓄積・体系化は大学図書館によって行われ、蓄積された学術情報は検索可能な形で公開されることによって、初めて地域社会において共有財産となります。“社会への学術情報の還元”によって、大学における教育と研究は一層活性化され、地域社会の自律的な発展に貢献します。従って、図書館が蓄積・保有する学術情報を地域の人々へ提供することは当然の使命と謂えます。しかし、大学図書館の統計では図書館を利用した学外者は全利用者の数パーセントであり、学外者にとっては幾分、敷居が高い、馴染み薄き施設と推察されます。加えて、施設の利用方法や手順等が周知徹底されていないことも原因の1つでしょう。今後、市民を対象にした文献検索の具体的な手法や、国立国会図書館蔵書検索・申込システム(NDL-OPAC)で有名なオンライン閲覧目録(OPAC: Online Public Access Catalog)等の検索方法に関する講習会も必要となるでしょう。

今後とも、図書館の職員一同、学外の図書館との連携システムを構築し、貴重な学術情報の共有と利活用へ取り組みたいと思っています。変らぬ御理解と御支援のほど、宜しくお願い申し上げます。

(いとう まさはる 図書館長)

図書館利用のすすめ

新入生の皆様へ，先輩から「利用のすすめ」を書いていただきました。
是非，参考にして図書館を活用してください。

「新入生へのメッセージ」

吉田 博

新入生のみなさまご入学おめでとうございます。これからの大学生活に対してたくさんの希望を胸に抱いていると思います。専門的な勉強，サークル活動，あそび，バイト，恋愛などやりたいことがいっぱい膨れ上がっているように見えます。そんな君たちに私からのメッセージがあります。大学の授業では学期末に限らずレポートやテストがあります。それをおろそかにせず，しっかりこなしていくことが大学生活を楽しむカギになります。その手助けをしてくれるのが，大学附属の図書館です。

まずレポート課題を解くためには，情報収集や基礎知識が欠かせません。わが愛媛大学附属図書館には，学部の授業で使われている教科書や参考書，数多くの辞典，最先端技術を紹介した専門雑誌などを閲覧したり，借りたりすることができます。みなさんのレポートを解決するために必要な情報もきっと手に入れることができます。またその過程で新しい発見につながり自分の視野を広げ

るきっかけになるかもしれません。次にテストで単位をゲットするためには，学力をしっかりとつける必要があります。もちろん勉強はどこでもすることはできますが，集中できる環境でやりたいものです。例えば，私は家ではあまりにもくつろぎすぎ，たくさんの誘惑に負けてしまい長く集中力は続きませんでした。図書館ならテレビがあるわけでもなく，横になることもなく静かにできる環境が整っていますし，わからないところをすぐに調べることもできます。また友達と一緒に勉強会をやることもできます。

図書館をうまく活用することで，自分の時間をうまく使い，無理なく勉強しキャンパスライフを有意義にすることができるのではないのでしょうか。

(よしだ ひろし 理工学研究科数理学専攻院生)

図書館は本を探すところ，文献を探すところ

山内一祥

『図書館は，本を探すところ』これは間違っています。

実際，図書館に収蔵されている本を検索する場合，蔵書目録検索(OPAC)を使います。簡易検索と詳細検索とがあるので，『キーワード』に関連する図書を必要としている場合は，簡易検索で広く，(図書館 注：平成18年2月の図書館システム機種更新によ

り，タイトルワードでの検索になりました。)，すでに必要な図書がわかっている場合は，詳細検索でピンポイントに，と使い分けることで利用効率が上がります。

しかし多くの人は『図書館は，本を探すところ』，と言うのを図書館にある本だけを対象に考えているのではないのでしょうか。

図書館には，収蔵されていない本・雑誌

を探す機能もたくさんあります。図書館の HP で『学内向けサービス』以下にあるのがそれです。『学術情報データベース検索』では医学文献、朝日新聞記事、オンライン辞書、雑誌記事索引、判例、農学・環境、看護・医療など多くのデータベースを利用できます。私が頻繁に利用しているのは『Scopus』ですが、ここでは経済学から科学まで幅広い内容の電子ジャーナルを閲覧することが可能です。さらに、必要な文献を検索し Full Text で見られることが何よりの利点です。おそらく、研究室など、卒業研究などが始まるまでは利用することはあまりないと思います。しかし、最新の知識を得るためにこれら web 上のデータベ

ースを利用してみるのはどうでしょう。利用方法は、図書館に一覧が置いてあるので誰でも簡単にできます。

最後に、『学生希望図書申込』も活用してください。申請した本がすべて購入されるわけではないでしょう。しかし、個人購入には適さない高価な学術的な内容の本、入門書のような簡単な内容の本など、図書館に無い本は購入希望の申請を出してみるのも良いかもしれません。『図書館は、本を探すところ』です。多数のサービスを使いこなし、快適な図書館ライフを過ごしましょう。

(やまうち かずよし 教育学研究科教科教育専攻理科教育専修院生)

図書館の活用方法はさまざま

大竹奈津子

大学に入学すると、授業ではレポート形式などの課題が出されることが多く、新入生はこれから頻繁に図書館を利用することになると思います。図書館でよく利用するツールの一つとして、蔵書目録検索 (OPAC) があります。これは、愛媛大学内に所蔵される全ての図書を検索することができ、詳細な情報が分からなくても、キーワードから簡単に検索できるため多くの学生が利用しています。他にも学術情報データベース検索といって、過去の新聞記事をキーワードから検索ができたり、英和・和英のオンライン・ディクショナリーなど、レポートを作成する上で戦力となるツールもあります。また、愛媛大学内に所蔵されていない図書に関しても、学生希望図書として購入できたり、図書館 Web サービスを利用することにより情報を得ることができます。図書館 Web サービスの詳細は図書館 HP に記載されていますが、オンライン上で検索できるため非常に便利です。また研究室に所属するとジャーナルを読むことが必須となり、この学内に所蔵されていないジャーナルが必要になることがあります。その場合も、この Web サービスに依

頼することにより、比較的短期間に目的のジャーナルを入手することができ、知っておくと得するシステムです。

図書館の利用方法としては目的図書の貸借がほとんどであると思いますが、図書館には専門図書をはじめ様々なジャンルの図書が所蔵されおり、時間がある時など図書館を訪れることで、何か興味の湧く本に出会い視野を広げることができます。この他にも愛媛大学の図書館には、自習室、会議室、DVD 視聴などさまざまな図書館の利用方法があります。さらに、昨年からは図書館 1F において、スタディ・ヘルプ・デスク (SHD) が開設され、数学、英語などの基礎科目に関して大学院生による学習支援も行っています。このように、図書館の活用方法は様々であり、個人の目的にあった利用ができると思います。

(おおたけ なつこ 連合農学研究科生物環境保全学専攻院生)

図書館サポーターのおすすめ本



1) 必携! ビジネスマナー

阿部 開道 西東社 2004

請求番号: 336.49/AB

設置場所: 図・学生図書コーナー

仕事の仕方, 上司・先輩への対応, 電話のマナーなど社会に出たら必要な知識に加え, 冠婚葬祭からテーブルマナーまで幅広く役立ちます。

2) あなたが世界を変える日ー

12歳の少女が環境サミットで語った伝説のスピーチー

セヴァン・カリス＝スズキ著 学陽書房 2003

請求番号: 519/CU

設置場所: 図・学生図書コーナー

弱冠 12歳の少女が国連の地球環境サミットで世界中の人々に向けたメッセージ。その一言一言は私達に深い感動を与え, いかにも環境に対して無関心であったか痛感させられます。レポートやテスト勉強の合間にどうぞ。

3) 九つの対話

梅原 猛著 潮出版社 2000

請求番号: 914.6/UM

設置場所: 図・学生図書コーナー

脳死・臓器移植で「死」について様々に議論される現代。あなたは「死」とはどういうものか, 考えたことはありますか?

4) 論理トレーニング 101 題

野矢 茂樹著 産業図書 2001

請求番号: 116/N0

設置場所: 図・学生図書コーナー

論理力を鍛える頭の体操をこの冬この本でやってみませんか?

図書館利用サービスのお知らせ



平成18年2月からの図書館システムの更新により、以下のとおり図書館利用サービスが拡充しました。

1. OPAC (オンライン目録検索) の充実

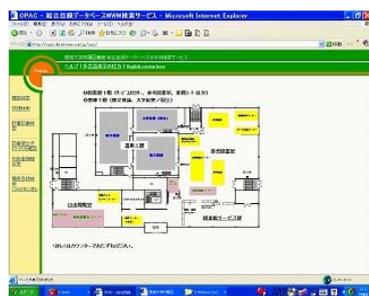
<http://opac.lib.ehime-u.ac.jp/opc/>

- 1) 検索スピードがアップしました
- 2) 検索画面がシンプルで見やすい



【簡易検索画面】

- 3) 絞り込み検索ができます
- 4) 同じ条件で国立情報学研究所の Webcat Plus が検索できます
- 5) 図書館内の所蔵場所がわかるMAPが表示されます

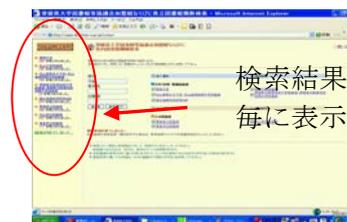


【所蔵MAP】

また、学内からの検索では、所在情報が個人教員研究室まで表示されます。学外からの検索では、従来どおり研究室までの表示です。

2. 愛媛県大学図書館協議会加盟館ならびに県内図書館横断検索

<http://opac.lib.ehime-u.ac.jp/cross/>



検索結果が各図書館毎に表示

【横断検索画面】

愛媛地区大学図書館協議会
愛媛大学 松山大学 東雲女子大学
県立医療技術大学
公共図書館
県立図書館 松山市立図書館
東温市立図書館
全国
国立情報学研究所

上記図書館の図書資料のデータが横断的に検索できます。

3. 携帯電話 Mobile 版

<http://opac.lib.ehime-u.ac.jp/nbp/index.html>

以下の内容について携帯からご利用できます

- 図書館からのお知らせ
- 開館日や時間などのカレンダー
- OPAC
- 貸出状況の確認



蔵書検索 (OPAC) の使い方

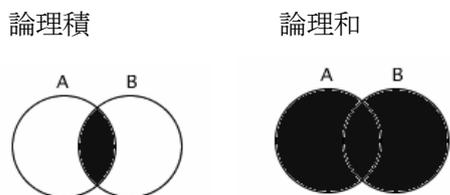
平成 18 年 2 月 1 日から、図書館電算システムが更新され、蔵書目録検索システムも検索方法が変更されました。蔵書検索 (OPAC) について、簡単に使い方を説明します。

1. 検索できる資料

- 愛媛大学で所蔵する図書・雑誌
- 【図書】 1988 年以降受入図書を中心として 537,00 冊の図書が検索可能 (所蔵図書の 55%)
- 【雑誌】 全所蔵雑誌 (19,800 種)
- * 検索できない図書 448,000 冊簡易目録で書名検索可能 (平成 17 年 3 月末数)

2. 検索機能

検索には、検索結果に、用語 A と用語 B をともに含む論理積検索、用語 A または用語 B を含む論理和検索があります。このシステムでは、論理積検索と論理和検索ができます。



3. 検索に入る前に

- ・資料区分
 - ・和洋種別
 - ・検索対象場所
- について、検索目的に従いチェックしてください。

チェック **簡易検索画面**

資料区分	: <input checked="" type="radio"/> 全資料 <input type="radio"/> 図書 <input type="radio"/> 雑誌
和洋種別	: <input checked="" type="radio"/> すべて <input type="radio"/> 和書のみ <input type="radio"/> 洋書のみ
検索対象場所	: <input checked="" type="radio"/> 全館 <input type="radio"/> 本館 <input type="radio"/> 医学部分館 <input type="radio"/> 農学部分館
タイトル	:

4. 入力について

- ・英字の小文字、大文字の区別はありません。
- ・促音 (カナの小さい「っ」、拗音 (カナの小さい「ゃ」「ょ」など) は大文字の状態の「つ」「や」などと認識します。
- ・伸ばす音 (長音) は検索対象として認識しません。長音をのぞいた状態で検索します。
- ・検索語は基本的に完全一致で検索しますが、前方一致・後方一致・中間任意などの部分一致を指定することも可能です。

☆完全一致 **economic**
economics, economical, などは検索されません。

☆前方一致 **economic***
economics, economical, などを含めて検索します。

☆後方一致 ***economic**
macroeconomic, など
語として後方が一致するものをすべて検索します。

☆中間一致 ***economic***
macroeconomics, など
中間部分が一致するものをすべて検索します。

5. 書 (誌) 名検索のポイント

書名検索は、タイトルの検索窓に検索語を入力します。

例：フランス△農業

「経済政策」のような複合語の場合、経済△政策と入力します。(△はスペース)

資料区分	: <input checked="" type="radio"/> 全資料 <input type="radio"/> 図書 <input type="radio"/> 雑誌
和洋種別	: <input checked="" type="radio"/> すべて <input type="radio"/> 和書のみ <input type="radio"/> 洋書のみ
検索対象場所	: <input checked="" type="radio"/> 全館 <input type="radio"/> 本館 <input type="radio"/> 医学部分館 <input type="radio"/> 農学部分館
タイトル	: <input type="text" value="経済 政策"/>
フルタイトル	: <input type="text"/>
著者名	: <input type="text"/>
出版者	: <input type="text"/>
ISBN / ISSN	: <input type="text"/>
一覧表示順	: タイトル を 昇順 で表示

注意 1! 「経済政策」と続けて入力すると、このシステムでは、書名などに、文字列として「経済政策」を持っていても、検索漏れを生じます。(書名、副書名、叢書名、注記の語を検索します。)

「経済政策」に関する図書を検索する時は、「経済△政策」または、「*経済政策*」のように「*」をつけて検索してください。

注意! 綴りが異なるものは、すべて入力してください。

(ヴァイオリン|バイオリン) △魔法
(シェークスピア|シェイクスピア) △悲劇のように OR 検索してください。

*「|」は、OR 検索演算子です。

●書(誌)名が一語の場合

資料区分	: <input checked="" type="radio"/> 全資料 <input type="radio"/> 図書 <input type="radio"/> 雑誌
和洋種別	: <input checked="" type="radio"/> すべて <input type="radio"/> 和書のみ <input type="radio"/> 洋書のみ
検索対象場所	: <input checked="" type="radio"/> 全館 <input type="radio"/> 本館 <input type="radio"/> 医学部分館 <input type="radio"/> 農学部分館
タイトル	: <input type="text"/>
フルタイトル	: <input type="text" value="自然"/>
著者名	: <input type="text"/>
出版者	: <input type="text"/>
ISBN/ISSN	: <input type="text"/>
一覧表示順	: タイトル ▼ を 昇順 ▼ で表示

書名が一語の場合は、「フルタイトル」の検索窓に検索語を入力します。(「タイトル」で検索すると不要なものまでヒット)

タイトルに「自然」のみを持つ図書・雑誌を検索することができます。

例: "Science" "Nature"

6. 著者名検索のポイント

資料区分	: <input checked="" type="radio"/> 全資料 <input type="radio"/> 図書 <input type="radio"/> 雑誌
和洋種別	: <input checked="" type="radio"/> すべて <input type="radio"/> 和書のみ <input type="radio"/> 洋書のみ
検索対象場所	: <input checked="" type="radio"/> 全館 <input type="radio"/> 本館 <input type="radio"/> 医学部分館 <input type="radio"/> 農学部分館
タイトル	: <input type="text"/>
フルタイトル	: <input type="text"/>
著者名	: <input type="text" value="中村 勝"/>
出版者	: <input type="text"/>
ISBN/ISSN	: <input type="text"/>
一覧表示順	: タイトル ▼ を 昇順 ▼ で表示

「中村△勝」と入力し検索します。

読みの場合:スペースが必要

「なかむら△まさる」

また、途中までしかわからない時は、

「芥川△龍*」で可

●外国人著者の場合

「Einstein△A*」原綴りで検索します。

原綴りがわからない時は、アインシュタインで検索し、「図書詳細情報」の著書から原綴りを探します。

●外国人が著者の場合、翻訳本であっても、検索もれを防ぐには、原綴りどおりに入力することが重要です。(△はスペース)

○ Shakespeare△William

○ Shakespeare△W*

○ シェイクスピア△ウィリアム(検索もれあり)

× ウィリアム・シェイクスピア

7. 一覧表示のソート

資料区分	: <input checked="" type="radio"/> 全資料 <input type="radio"/> 図書 <input type="radio"/> 雑誌
和洋種別	: <input checked="" type="radio"/> すべて <input type="radio"/> 和書のみ <input type="radio"/> 洋書のみ
検索対象場所	: <input checked="" type="radio"/> 全館 <input type="radio"/> 本館 <input type="radio"/> 医学部分館 <input type="radio"/> 農学部分館
タイトル	: <input type="text"/>
フルタイトル	: <input type="text"/>
著者名	: <input type="text"/>
出版者	: <input type="text"/>
ISBN/ISSN	: <input type="text"/>
一覧表示順	: タイトル ▼ を 昇順 ▼ で表示
一覧に表示する件数	: タイトル ▼ を 昇順 ▼ で表示
検索開始	: <input type="button" value="検索開始"/>
検索値クリア	: <input type="button" value="検索値クリア"/>

タイトル▼をクリックすると

タイトル順、著者名順、出版年順などに並べ替えができます。(昇順、降順)

8. 表示件数

一覧表示は、最大 100 件、検索結果は、無制限の選択で全件表示できます。

一覧表示順	: タイトル ▼ を 昇順 ▼ で表示
一覧に表示する件数は	: 20 ▼ 件/頁とし、最初の 200 ▼ 件
検索開始	: <input type="button" value="検索開始"/>
検索値クリア	: <input type="button" value="検索値クリア"/>
無制限	: <input type="button" value="無制限"/>

蔵書検索(OPAC:オペック)結果の見方 **図書館編**

図書詳細情報 一覧に戻る

タイトル/責任表示: アダム・スミスにおける倫理と経済 / G・R・モロウ著 鈴木信雄,市岡義章訳
 タイトルのヨミ: アダム スミス ニオケル リンリトケイザイ
 その他の標題: 原書名:The ethical and economic theories of Adam Smith[[The ethical and economic theories of Adam Smith
 出版事項: 東京: 未来社, 1992.3
 形態: 159.jp; 20cm
 ISBN: 4624321413
 著者標目形: Morrow, Glenn R. (Glenn Raymond), 1895-1973[[Morrow, Glenn R. (Glenn Raymond), 1895-1973
 モロウ, G. R. [[モロウ, G. R.
 鈴木, 信雄(1949-) [[スズキ, ノブオ
 市岡, 義章 [[イチオカ, ヨシアキ
 分類: NDC:331.42
 件名: NDL\$H\$Smith, Adam. //A
 テキスト言語: 日本語
 NCID: BN07417366

貸出中の図書は予約できます。カウンターに申し出てください。

所蔵情報

所在	請求記号	巻冊次等	図書ID	貸出状況
開架-和書-NDC300番台	331.42/MO		0111192036211	貸出中:返却 期限: 2008/10/05 予約
教育学部-教育学部 育・ 研究室	331.42/MO		0111196070738	研究室所在

図書の住所 = 所在 + 請求記号 をメモして探しに行ってください!



★図書は背に貼っている請求記号順に ← 並んでいます。

研究室という表示がなければ図書館にあります。(所在をクリックすると、所在図が表示されます。)

- 開架 : 請求記号の1段目の最初の文字が 0-3,6-7 2F・第1開架閲覧室
- : " 4-5(と007) 2F・第2開架閲覧室
- : " 8-9 3F・第3開架閲覧室

★080で始まる「××文庫」「○○新書」は2Fのラウンジにあります。

地域資料: 地域資料(愛媛県関係)コーナー。1F奥

参考: 参考図書(辞書・辞典類) 1F(貸出できません。)

書庫: 学内の方はカウンターで手続きして下さい。学外の方は職員まで。

学生図書: 学生図書コーナー。2F第1開架入口すぐ

教科書: 3F第3開架入口付近。

研究室の時

学内のパソコンで検索した場合は研究室の先生の名前が表示されます

学内の方は直接先生にお願いしてください。学外の方は利用できません。

★別キャンパスやその他の表示で分からない場合は図書館レファレンスデスクにお問い合わせ

わせ下さい

蔵書検索(OPAC:オパック)結果の見方 **雑誌編**

雑誌は全ての年代を検索できます。雑誌は基本的に論文をコピーしてご利用下さい。

雑誌詳細情報

[一覧に戻る](#)

タイトル/責任表示: **Journal of the American Chemical Society / American Chemical Society**

巻次年月次: (1879)-

出版事項: Washington, D.C.

ISSN: 00027863

著者標目形: American Chemical Society

変遷注記: AF:American chemical journal

AF:Journal of analytical and applied chemistry

SS:Accounts of chemical research / American Chemical Society

NCID: AA00692602

ローカルIDENT: <http://pubs.acs.org/journals/jacsat/index.html>

所蔵情報

所在 ①	所蔵巻号 ②	所蔵年次 ③	LDF
図書館洋雑誌	37-62, 63(1-10), 72(1-9, 11), 73(1-7, 9-12), 77(11), 85-116, 117(1-17, 19-51), 124-127+	1915-2005	
理学部・理学部 理・化学科 研究室	112-122, 123(1-51)	1990-2001	
工学部・工学部 工・応用共 研究室	63-93, 94(1-21, 23-26), 95- 122	1941-2000	
図書館洋雑誌-農分館	72-123	1950-2001	

①所在: 「図書館」の場合, クリックすると所在図が表示されます。

最新1~2年のものは1F新着雑誌コーナー

それより古いものは書庫にあり, 雑誌名のアルファベット順に並んでいます。

学内の方はカウンターで手続きをして下さい。学外の方は職員まで。

■ **図書館洋雑誌⇒書庫1F**

■ **図書館和雑誌⇒書庫2F**

(★国立大学紀要は書庫1F; 国公立大学紀要は書庫2F)

「研究室」という表示の場合は, 学内の方は各事務室に行き, 直接ご利用下さい。

学外の方は利用できません。

★別キャンパスの表示が出たらレファレンスデスクへお問い合わせ下さい。

②所蔵巻号: 「73(1-7,9-12)」の場合, 「73巻の8号はありません。」という意味になります。

「+」はこれからも購入を予定しているもの。

③所蔵年次: 所蔵開始巻号の年次-所蔵最後の巻号の年次

学術情報リテラシーシリーズ（第4回）

雑誌論文（学術論文）を探すには

1.なぜ雑誌論文か

Yahoo! や Google から集めた情報だけでレポートや卒業論文を書こうとしていませんか？

ちょっと待ってください。その情報を書いた人は誰でしょうか？出所ははっきりしていますか？また、正しい情報なのでしょうか？

インターネットの検索エンジンは調べ物をするのにとっても便利ですが、正しく役に立つ情報と、間違っていたりあやふやだったりする情報とが混じり合っています。それを見極めるのはとても難しいことです。

さらに、検索エンジンで引ける情報には限界があり、昔の情報や本の中身まではほとんどわかりません。

「じゃあ、図書（ふつうの本）を探せば完璧！」

いやいや、素晴らしいレポートや卒業論文を書くためには、図書だけでは足りません。図書は重要な情報源ですが、1冊の本になるまでにかかなり時間がかかっています。また、いったん出版されると、中身が新しくなることはそうそうありません。改訂される場合でもかなりの時間（年数）がかかります。

一般に学術論文のサイクルは、

- (1) 図書・雑誌に掲載された様々な論文や資料を調査
- (2) (1)の内容を元に論文執筆
- (3) 学術雑誌に投稿，専門家による査読を受ける（「査読制度」については『図書館情報学用語辞典』（図・参考：010.3/NI）をご覧ください）
- (4) 査読を通過した論文のみが学術雑誌に掲載される
- (5) 論文がある程度蓄積されると図書にまとめられる

そして、どの状態からでも常に(1)に戻ります。

雑誌の特徴は、同じタイトルのもとに、月1回というような一定のサイクルで続けて発行され、1冊の雑誌の中には複数の著者による複数の論文が掲載されているということです。

したがって、論文を書いてから掲載されるまでの時間は図書よりも短いため、新しい情報が手に入るということになります。

また、雑誌に掲載されてもそれが後に図書になるとは限りません。つまり雑誌でしか読めない論文もたくさんあるのです。

2.雑誌論文を探すには

雑誌論文そのものを**蔵書検索 (OPAC)** では探すことはできません。

蔵書検索 (OPAC) でわかるのは、雑誌の何巻何号がどこにあるのかという情報です。

「じゃあ、どう探せばいいんだろう？」

自分のテーマに関係する雑誌論文にどんなものがあるのか、それは何という雑誌のどこに掲載されているのか、ということを探すには、こんな方法があります。

方法	(1)文献データベース	(2)冊子体 (紙で発行されたもの：主題別 で本の形になった文献目録や雑 誌の巻末の掲載論文一覧)	(3)引用・参考文献
利点	キーワードで検索できる。 最新のデータを検索できる。	一覧できる。 特定分野の主要文献に関してあまり取りこぼしがない。 昔からの蓄積がある。	イモヅル式に探せる。 思いも寄らない文献を見つけることができる。
欠点	世の中の全ての論文を網羅しているわけではない。 検索の際、キーワードなので取りこぼしがある。 古い文献が探せない。	印刷・出版されるまでのタイムラグがあり多少遅い。 キーワードで検索して一覧することができない。	雑誌名が省略されていることがある。 はじめに見た論文よりも新しいものは探せない。
例	1)MagazinePlus (マガジンプラス) 特徴：学内限定+国内最大+OPAC リンク 2)CiNii (サイニイ) 特徴：1)と収録範囲が異なる+全文	1)中田易直編『近世日本対外関係文献目録』(刀水書房, 1999) 図・参考：210.503/NA 2)雑誌「日本歴史」 566号(1995年) p131-：雑誌論文目録	

これらの方法で掲載されている雑誌名、年、巻号がわかれば、**蔵書検索 (OPAC)** で学内にあるかないかを探ることができます。

(注意：蔵書検索 (OPAC) ではタイトルに雑誌名を入力して検索してください。年や巻号を入力すると検索できません。)

また、ここで紹介している例はほんの一部です。他の文献データベースを使ってみたい場合は、図書館ホームページの[リンク集](#)で紹介していますので、活用してください。

図書館からのお知らせ

1. 本館からのお知らせ

自由閲覧室にパソコン50台が設置されました。課金プリンターもあり、印刷ができます。



2. 医学部分館からのお知らせ

【闘病記文庫設置】

医学部分館では民間研究グループ「健康情報棚プロジェクト」様よりご寄贈いただいた闘病記(図書279冊)を「闘病記文庫」として閲覧室内に設置いたします。

闘病記の中には、タイトルからはそれと見分けがつかないものや、自費出版等の理由から発行部数が僅少であるものが多く、図書館では大抵の場合文学等と同じ区分に分類されています。このような現状から、医療関連情報として闘病記を利用する際に「何の病気についての記録か」という視点から探すことが困難であると言われていました。

「闘病記文庫」とは、当プロジェクトの方々幅広く収集し、独自の疾患別分類に基づいて整理した一連の闘病記のことを指します。その選別・疾患別分類等はプロジェクトメンバーである図書館員・看護師・研究者等の方が行っていますが、闘病記を実際に読んで疾患別に分類する作業には医学部生も参加・協力しているとのこと。昨年11月には、愛媛大学でも学生有志により3日間にわたる作業が行われています。

愛媛大学図書館医学部分館では、患者やその周りの方自身によるナラティブ(Narrative=語り、語り手)という側面からこれらの闘病記を医学・看護教育にも役立てたい、という当プロジェクトの趣旨に賛同し、「闘病記文庫」を大学図書館の蔵書として整理・公開し、学内外への利用に供するものです。医学系大学図書館では全国初の試みとなります。

「闘病記文庫」の図書は、通常の図書館資料とは別の装備をおこない、別の棚に配置しております。分類も疾患別分類をそのまま引き継いで、分類毎に棚見出しをつけております。

オンライン蔵書目録(OPAC)で検索しますと、請求記号のところに「TOBYO/がん68」などのように表示されます。通常の資料と同様に貸出可能です。どうぞご利用ください。

3. 農学部分館からのお知らせ

【レポート・論文のための資料集め講座】の開始

農学部分館内でOPACの見方、文献の探し方(AGICOLA, SCOPUS, 雑誌記事索引etc.)、電子ジャーナル利用のための説明会を行うことになりました。

予約制にしていますのでお一人様からでも可能です。「短時間でポイントを！」

どうぞご利用ください。

お申込みの際には、下記にご連絡をお願いします。

連絡先：農学部分館情報サービスチーム(農学部分館カウンター)

電話：089-946-9914

内線：225

E-Mail：agrlib@lib.ehime-u.ac.jp

附属図書館委員会

○平成17年度第4回附属図書館委員会

日時 平成18年2月24日(金)

場所 附属図書館視聴覚室

議事

【報告事項】

1. 平成17年度附属図書館将来計画委員会について
2. キャンパスサービスセンターについて
3. 新図書館システムについて
4. 平成17年度図書館事業報告について
5. 愛媛大学における図書資料の取扱基準及び愛媛大学附属図書館寄贈資料受入要項の制定について
6. 分館近況報告
7. その他

【協議事項】

1. 平成18年度附属図書館事業計画(案)について
2. その他

出席：松本資料整備 TL

2月21日 平成18年度NACSIS-CAT/ILL講習会実施検討会議(国立情報学研究所)出張：松本学術情報課専門役

2月22日 平成17年度国立大学図書館協会中国四国地区事業委員会開催

2月24日 平成17年度第2回附属図書館将来計画委員会
平成17年度第4回附属図書館委員会

2月28日 任期満了：讃岐附属図書館長
退職：渕上学術情報部長(長崎大学図書館部長へ)

3月1日 伊藤附属図書館長就任

3月31日 定年退職：河野図書館サービス課長

退職：松本学術情報課専門役(鳥取大学学術情報部図書館情報課長へ)

4月1日 「愛媛大学附属図書館」から「愛媛大学図書館」へ名称変更(学則改正)

組織再編により学術情報部廃止,学術情報課・図書館サービス課廃止,図書館事務課設置
昇任：富田図書館事務課専門役(図書館サービス課医学部分館情報サービスTLから)

配置換：植木学術情報課学術総務TL(医学運営部施設室施設管理TLへ)

配置換：福留図書館事務課学術総務TL(国立大洲青年の家庶務課庶務係長から)

(TL：チームリーダー SL：サブリーダー)

図書館日誌(人事異動,会議,研修等)

- 12月11日 平成17年度第3回図書収集事務委員会
- 12月31日 退職：森川資料整備 TL
- 平成18年1月1日 昇任：上山学術情報課資料整備 TL(資料整備チームSLから)
勤務換：橘資料整備部員(学術情報チームから)
- 1月16日 平成17年度第4回農学部分館運営委員会
- 2月2日 館報編集委員会(図書館だより第80号)
平成17年度第3回情報リテラシー教育支援WG
- 2月15日 広島大学図書館学術講演会

愛媛大学図書館「図書館だより」第80号
編集：館報編集委員会
〒790-8577 松山市文京町3番

2006年4月1日発行
発行：愛媛大学図書館
TEL(089)927-8845